



里山活動の推進と支援を担う「さとぷ

モデル事業の主な取り組みとして、

のステージに向かってスター

トを切り

ました。

見せてきた「さとぷろ。」の活動は次

広がりを

里山仲間が集う さとぷろ。会館がオープン



安曇野環境フェアで 松枯れ材の積み木を展示



薪づくり講習会で 里山資源を活用

の10年間多くの人が関わり、 SDGs モデル事業に選ばれました。こ 昨 ト」が先進的な取り組みとして自治体 からつながる安曇野共生プロジェク とぷろ。」の活動を中心とした「里山 さらに未来都市の取組計画のうち 年5月、 来都市に選定され 内 閣府から SDGs た安曇野 っさ 市。

楽しむことから始めてみませんか。 まずは自分なりの里山時間を見つけて そして世代を超えたつながりを「さと ぷろ。」の活動が作り続けていきます。 ります。人と里山が共に生きる暮らし、 いくことが持続可能な安曇野につなが これらの取り組みを一歩ずつ積み重 の里山づくり」などを掲げています 里山から人と人との関係を広げて 「SDGs ワンモアアクション」 「安曇野モデ -ベント等

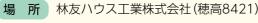
を通して の実施、資源が循環する た産業の新しい形づくり、 ろ。機構」の構築、里 や木材を活 か

INFORMATION

木材や里山資源を暮らしにつなぐ 第10回 あづみの里山市開催



日 時 11月8日(土) 第1部 10:00~/第2部 11:00~/第3部 12:00~14:00

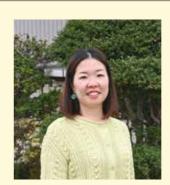


第1部・2部:各30組(先着順)・第3部:なし

申し込み 10月27日(月)10:00から31日(金)12:00に申し込みフォームから。 詳細は市HP(右記2次元コード)をご覧ください。







鈴木 翔子さん (9・豊科) あづみの森であそび隊 代表

INTERVIEW

感じて、遊んで、森とつながる

「さとぷろ。学校」を中心とした活動が、ベテラ ンのメンバー多かったため、子どもや若い世 代とのつながりが課題でした。そこで、昨年か ら子どもと大人がフラットな関係で森や自然 の中で遊びながらその豊かさ、そして自然の 大切さを伝えることを目指してあそび隊の活 動がスタートしました。現在は子どもを含む 15人のスタッフで、2カ月に1回のペースでイ ベントなどを開催しています。

特に大切にしているのが「あづみの冒険プ レーパーク」です。家庭や公園ではなかなかで きない、火を使った遊びやナイフを使った遊 びなど、少し冒険的な体験ができます。子ども たちには、遊び方をすぐには教えず、自分で気 づくのを待ちます。これは「自然が相手だとこ うなる」といった気づきを大事にしているか らです。

里山や自然を体で感じ、その大切さを実感す ること。今後もこの思いを大切に、スタッフも 参加者も一緒に楽しみながら、森との関わり を深めていきたいです。

INFORMATION

あづみの冒険プレーパーク 参加者募集

竹パンづくりや火を使った遊びなど公園ではで きない遊びを体験します。

□11月23日(日) 10:00~14:00 陽室山(詳細は参加者に連絡します) 定5組20人(先着順)

費大人 1000円 子ども(3歳以上) 500円

申専用フォームで (下記2次元コード)

問あづみの森であそび隊

playingforest.azumino @gmail.com



Google



特徴や習性の説明を聞いた後、神社の

ムササビとモモンガの

た。(里山の魅力発見プロジェク

ントが開かれ、

親子50人が参加しまし

がある、とっておきのポイントに移動

静かにムササビが住んでいそうな

周辺でムササビを観察するイベ

そして、

ムササビが生息している木

痕跡を肌で感じました。

月9日の夕暮れ時、

有明山神社

あづみの森であそび隊主催)

木についたムササビの登った痕跡とフ

高まった瞬間、

大きな座布団のような

ムササビが夜空を滑空。

一瞬の出来事

大きな歓声が上がりました。

る枝に光る目を発見。参加者の期待が

場所を観察。ムササビが飛ぶことが多

とされる日没直後、

木の上の方にあ

ちはあっという間に多くのフンを見つ

ンを探すことからスタ

里山の魅力発見 プロジェクト

自然を肌で感じる

非日常の冒険から学ぶ

才 ッチング

7 No.385 October . 2025 October . 2025 No.385 6